

日本豚病研究会報 原稿作成 著者チェックリスト (2025年3月13日版)

- 本原稿は豚の疾病、獣医療、生産管理などに関する内容であり、他誌に発表・投稿されておらず、また発表予定もない。
- 全共著者が原稿を確認し、投稿を了承している。
- 所属機関、関連機関は投稿を了承している。

- 投稿要領 <https://tonbyo.com/proceedings/instructions> に沿って記載されている。
- 規程枚数 (A4版用紙を用い1枚当り800字程度、10枚以内 目安) の範囲内である。
- 本文に行番号(連続番号)を付している。
- 原稿第1頁に以下の内容が記入してある。
- 原稿の投稿区分 (総説、原著論文、資料またはトピック)
- 表題
- 著者名
- 所属機関 (郵便番号と所在地、電子メールアドレス (任意))
- ローマ字の氏名 (名前はイニシャルのみ) と英文表題
- Abstract (原著論文のみ、希望者のみ、和文要約に一致している)
- 和文要約 (原著論文のみ、360字以内)
- 3-5語のキーワード
- 本文中表記は以下の項目に従っている。
- 「である」「がみられた」など「である」調を使用している。
- 体言止めは使用していない。
- フォントはMS明朝、フォントサイズは12ポイントを使用している。
- 数字、英語は半角を使用している。
- 句点は“、”、読点は“。”に統一されている。
- コンマ(,)、ピリオド(.)、コロン(:)、括弧の後ろには半角スペースを入れている。
- 「No. 1」のように「No.」と「番号」の間に半角スペースを入れている。
- “および”は“及び”に統一されている。
- $P > 0.05$ の“P”は“p”に統一されている。
- 特殊文字の使用は極力避ける (例: 「ml」は「mL」と表記する)。
- パーセントの表記は全角“%”にする。
- 数字と単位記号の間には、半角スペースを入れる (例: 3 %、10 mL、15 kg)。
- “<” “-” “-”の表記は統一している (半角と全角)。
- 「本例」、「本事例」、「当該牛」等の報告症例を指す表現は、「本症例」で統一している。
- 「猪」、「いのしし」の表現は、「イノシシ」で統一している。
- 「か月」、「ヶ月」、「ヶ月」の表現は、「カ月」で統一している。
- 「週齢」、「日齢」の表現は、本文、図表で統一している。
- 「都道府県」を用いる場合は、“東京都”“北海道”“大阪府”“京都府”が入っている。
- 本文中の「et al.」は「～ら」に統一している。
- 略語は初出時に完全な用語を用い、以下に略語を使用している (例: 豚繁殖・呼吸障害症候群 (PRRS)、豚熱 (CSF)、アフリカ豚熱 (ASF))。
- “ウィルス”は“ウイルス”に統一されている。
- 家畜の伝染性疾患の名称は最新のものを用いている。
日本獣医学会疾患名用語集 (豚伝染性腸炎 (TGE) →伝染性腸炎 (TGE) など)
<https://ttjsvs.org/>
https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/eisei/e_koutei/kaisei_kadenhou/kaiseir2.h

tml 【家畜伝染病予防法施行令の一部を改正する政令(令和2年6月24日公布)】 家畜の伝染性疾患の名称変更について(PDF: 261KB)

- 試薬等の記載は、初出時は“(共立製薬(株)、東京都)”“(QIAGEN, Germany)”のようにメーカー名、国名(日本国内のメーカーは都道府県)を記載している。2回目は“(共立製薬(株))”“(QIAGEN)”のようにメーカー名のみを記載している。
- 学名は斜体、血清名は斜体なしで記載されている(例 *Salmonella* Typhimurium)。
- 種名等が変更して間もないものは、新旧の名称を()で併記する。
- 西暦を使用している。
- 図表は以下の項目に従っている。
- 図と写真は一括して図としている。
- 図表は必要最小限に止め、多くとも10枚までとなっている。
- 図は原則として横は6.5 cmとし、必要に応じて15.5 cmの大きさ(A4の大きさ以下)となっている。
- 図表のフォント、サイズは適切である。
- 表に縦線は使用していない。
- 表のタイトルは表の上に、図のタイトルは図の下に記載している。
- 表、図のタイトルでは“表1”、“図1”と表記する(“表1”、“図1”の後に半角スペースのみ入れる。ピリオドは入れない)。
- 個々の図表番号を記し、その挿入希望位置を原稿本文の右欄外に朱書きしている。
- 写真や図はカラーで作成している。(冊子体はカラーで作成されたもの白黒印刷、ホームページアップロード用PDFはそのままカラー)。
- すべての著者について利益相反の有無が投稿規程に従って明記されている。

例) **利益相反状態の有無**

著者は開示すべき利益相反はない。

- 引用文献は以下の項目に従っている。
- 引用文献は本文末尾にアルファベット順、単著→共著、公表年順に一括記載されている。
- 引用文献のアルファベット順に一括記載されている。(農林水産省はMinistry of Agriculture, Forestry and Fisheriesと英語表記してもよい。アルファベット順としては漢字表記でも“M”としている。公益財団法人日本動物用医薬品協会は、公式な英語表記がHPにあり、「Japan veterinary products association」なので“J”としている。一般財団法人日本養豚協会、公式な英語表記がHPにあり、「Japan Pork Producers Association」なので“J”としている。)
- 引用文献は投稿規程に従い記載されている。
- 引用文献の「Vet Microbiol, 136: 359-365.」の記載は「Vet Microbiol,(半角スペース)136:(半角スペース)359-365.」となっている。
- 引用文献のページ数表記「359-365.」の“-”は半角となっている。
(wordの「ファイル」→「オプション」→「表示」→「すべての編集記号を表示する」をチェックすると半角スペース等の編集記号が確認できます。)

- ホームページを引用する場合は下記の例に従い記載されている。末尾に最終閲覧日を記載する。

例

- 1) 農林水産省拡大豚コレラ疫学調査チーム(2019)豚コレラの疫学調査に係る中間取りまとめ. <http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/csf/>(2020年7月21日閲覧)
- 2) 農林水産省(2019)豚コレラについて(畜産農家の方へ).

<http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/csf/index.html#nouka>(2020年7月21日閲覧)
3) Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2018) 飼料添加物「硫酸コリスチン」の指定取消しについて。

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/tikusui/siryu/index.html>(2020年7月21日閲覧)

- 本文中では引用文最後の右肩に文献番号を片括弧付（上付き）で記載している。（例¹）、例^{2,3,5}、例⁶⁻⁹）
- 引用文献はすべて公開されている。（印刷中、In pressの論文は投稿時原稿を参考資料として添付する）
- 誤字・脱字、及び文章上の問題がない。
（弊獣→斃獣、縣濁→懸濁、宮崎県→宮崎県、薬剤の調整→薬剤の調製、胎児→牛胎子）
- 英文投稿原稿は英文校閲を受けている。
- 全ての数字は再確認している。

著者らが既に公表されている著作物と類似の内容について、投稿する場合は、特に下記に注意し、執筆している。

- 1) 著者らが既に公表している論文、原稿等を引用している。
- 2) 資料またはトピック等として作成している。
- 3) 図表は未公表のものを用いている。
- 4) 既に公表している論文、原稿等と同じ図表を用いる場合は、著者ら自身が出版社等から転載許可等をとった上で、原稿に出典を明記している。
- 5) その他、二重投稿、著作権侵害とならないよう著者ら自身で十分ご注意し、執筆している。

原稿提出締切：集会にてご発表される方は、集会開催日（5月、10月）です。
宛先にはtonbyou@ml.affrc.go.jp、tshiba@affrc.go.jpの2つを入れてください。
初回投稿時ccに全共著者のメールアドレスをいれてください。
本チェックリストも、同時にご提出ください。

（すべての原稿は専門家が査読し、編集の都合により改稿を求め、あるいは返稿することがあります。）

不明な点があれば下記までお問い合わせいただければ幸いです。

日本豚病研究会 編集担当幹事長
芝原友幸
shibahara.tomoyuki641@naro.go.jp
〒305-0856 茨城県つくば市観音台3-1-5
国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構
動物衛生研究部門 衛生管理研究領域 研究領域長
Tel 029-838-7772